

「フードバンク」活動にご協力を

家庭で眠っている食品大募集！

フードバンクとは、安全に食へられるのに過剰在庫、印字ミスなどの理由で流通に出すことができない食材を企業などから提供していただき、生活困窮世帯や福祉施設、子ども食堂・地域食堂に無償で提供する活動です。アメリカ

で1967年に開始され、その後、フランス、カナダ、イギリス、オーストラリアなど世界中の国に広まり、日本においても2000年以降フードバンクが次々と設立され、活動を始めました。フードバンクは、食品ロス

の削減にも寄与するものであるほか、生活困窮者への支援や子どもの貧困対策の推進などの観点からも大変意義のある取り組みです。室蘭市においても2018年からNPO法人の「フードバンクいぶり」が活動を開始



窓口名	所在地区	電話
室蘭母子福祉会	東町 2-3-3 ハートセンタービル内	84-8730
ピリカびりか	輪西町 2-5-1 ぶらっと・てついち内	47-4107
雑貨ミニマム	中央町 2-8-10 大町商店会	57-4172
ふれあいサロンほとなへる	中島町 1-24-2 荒井ビル 1F	50-6611
白鳥台ショッピングセンターハック	白鳥台 5-1-4	59-5010
室蘭言泉学園法人本部事務局	母恋北町 1-4-2	50-6720
日中活動センターげんせんカフェ・てとて	母恋北町 1-2-20	23-0520

し、食品製造業者や農家の方などから寄贈を受けた食材を生活困窮世帯などに届けています。「フードバンクいぶり」と連携・協力している室蘭市協では、さまざまなお困りごと相談を受ける中で、食材を希望される方の提供窓口となっております。

平成31年1月から令和2年2月までに20人以上の方に延べ約90回の食材を提供しています。これまでに1年間で生活しているが病気で医療費がかかり、その月の支出がかさみ、次の年金支給日までの生活費が足りない、「ケガなどで仕事を休み、その月の給料が減ってしまった生活費が足りない」などさまざまな理由で、一時的に生活費が足りず、食材の確保に困っているといった相談者を対象とし「フードバンクいぶり」に連絡し、食材を提供しています。相談者からは、アレルギーの有無や調理器具などを確認し「フードバンクいぶり」の在庫の中で対応できるものを、1世帯当たり一人一日一食で1週間分を基本として提供しています。食材を手に入れるのが難しく困っている方、ぜひお気軽に室蘭市協までご連絡ください。